



ASHA DEEP FOUNDATION

Project Office: D-81, Shahid Nagar, Delhi-UP Border, Ghaziabad, UP.

Regd. Office: 175C, J&K Pocket, Dilshad Garden, Delhi-110095.

E-mail: ashajim@vsnl.net - Website: www.adf.org.in

危険にさらされている子どもと身体的障がいをもつ子どものための アシャ・ニケタン・ホーム 年次報告書 2008年4月～2009年3月

危険にさらされている子どもの居住施設：

紹介：

アシャ・ディーブ・ファウンデーション（Asha Deep Foundation、以下 ADF）は、デリー近くのガジアバードで、15 のスラム街と再定住地域の人々のホリスティックな発達のために 20 年以上活動を続けている NGO 団体です。ADF はインドで NGO 活動の規制を定めた団体登録法（Registration of Societies Act of 1860）に登録しており、多くの社会的・教育的活動（特に子どもや女性に向けた活動）に携わってきました。

活動は特定の宗教と関係なく、個人と社会における人間の価値を重視し、発展の可能性を奪われた人々の生活を形作るための地域に根ざしたプログラムと住民参加に重きを置いています。ADF は児童教育、地域医療、女性の社会的地位向上、若年者への職業訓練などの活動を専門とし、危険にさらされている子どものための居住施設の運営のほか、身体に障がいを持つ子ども、くず拾いで生活する子ども、あるいは高齢者の方のためのデイケアプログラムの提供を行っています。

現在、私たちが提供する福祉プログラムの数は 28 を超え、女性・子ども・高齢者・孤児・貧困層・くず拾いをする人々・身体障がい者をカバーしています。ADF は男子居住施設を 1992 年に、女子居住施設を 1996 年 9 月 15 日に設立しました。女子用のアシャ・ニケタン・ホームはウッタルプラデシ州シャヒド・ナガールの D-81 キャンパスにあり、現在 110 人の子どもを保護しています。

Doctrine

2008 年から 2009 年までに行った活動:

教育関連:

教育はアシャ・ニケタン・ホームに必要不可欠です。支援を受けている男女 40 人の子ども全員が、正規または非正規の学校教育を受けています。今年度は全員が良い成績を取り、上位の学級に進むことができました。例えば、ソニアは BA (文学士の学位) で一年目の勉強に励んでいます。子ども達は毎日学校に出席して、授業に集中しています。学費と教材費の全ても期日どおりに支払われています。

職業訓練:

学問的な教育の他に、子ども達はアシャ職業技術訓練学校 (Asha Vocational Technical Training Institute) の職業訓練クラスにも参加します。パップとハレラムという 2 人の子どもはスクリーン印刷と溶接の専門技術を学ぶため、ナーシクに送り出されました。ハレラムは訓練課程を修了した後で、プネの工場に就職が決まり、現在は固定給をもらいながら、工場の施設で暮らしています。パップもあと数ヶ月で訓練課程を修了し、工場での勤務を開始します。スウェティは ADF の提供するプロジェクトの一環で業務管理の経験を積んでいます。ニータもセントジェームズ修道学校で保育士の経験を積んでいます。

医療・ヘルスケア:

健康的な栄養管理の他に、定期的に健康診断を行っています。保健衛生官によって、すべての子どもが毎週の健康診断と年 4 回の検査を受けます。病気にかかった子どもには薬が投与され、比較的大きな病気にかかってしまった子どもは、病院に連れて行き、そこで適切な治療を受けることとなります。前期 (2008 年 4 月 ~ 2009 年 3 月) は精神科、皮膚科、歯科、眼科、そして肺炎・風邪の治療がありました。健康診断の他には、専門のカウンセラーが定期的に子どもたちをカウンセリングします。カウンセラーは子どもの精神的な問題を対象に徹底的な検査を行います。

ピクニック:

前期は子どもの教育とレクリエーションの目的で、下記の通り 4 回ピクニックを実行しました。

2008 年 7 月 12 日 ; アンサル・プラザ

2008 年 8 月 18 日 ; S.M. ワールド・モール

2008 年 12 月 27 日 ; WAVE モール

2009 年 2 月 7 日 ; パシフィック・モール

子どもたちは映画鑑賞、美味しい食事、骨董品店の品物などを楽しみました。2008 年 11 月 2 日の教会の祝宴に参加した子ども以外は、ゲームに参加して賞品を競いました。

サマーキャンプ:

サマーキャンプは 2008 年 6 月 14 日~20 日にアナンダ・バーヴァンにて開催されました。キャンプ中はシムラーにも行きました。宿泊施設は 360 人の妻を持つというパティアーラのマハラジャが建設した宮殿で、子どもたちは非常に楽しんでいました。

6 月 16 日はケイヒルの世界一高いクリケット場（海拔 2,286m）を見学しました。現在は軍部がこのグラウンドを使用しているため、子どもたちは高台からの景色を楽しみました。

17 日はソーランのとても古くて有名なキリスト教教会を訪問しました。子どもたちは教会でお祈りをして、ソーランの商店街を散策しました。美しい自然に囲まれていましたが、子どもたちには雲に覆われた山がお気に入りだったようです。

18 日はチャンディーガルのインディラ・ホリデー・ホームに滞在して、マンサデーヴィー寺院を訪れました。この寺院も古くて有名な寺院です。子どもたちは彫刻を楽しんでいました。

19 日はロック・ガーデンに行きました。ロック・ガーデンはチャンディーガルの庭園で、非常に有名です。子どもたちは、庭園の石の彫像と滝に大変興奮していま

した。庭園は著名な環境問題専門家が開発したものです。夜にはスクナ湖の畔で素敵な時間を過ごしました。

レクリエーション:

レクリエーションもアシャ・ニケタン・ホームの活動の一部です。子どもたちはレジャータイムにテレビを見たり、ゲームをしたり、読書をしたりします。それ以外には、外国から訪れたボランティアの方々がレクリエーションを計画します。夏休みと年末にはゲームが行われます。また ADF で開催する教養プログラムにも参加し、楽しんでいます。他の団体が開催するプログラムに招待され、参加することもあります。2008 年 7 月 5 日にはジャンプラ教会を訪問し、教養プログラムの一環でグループダンスとグループソングが上演されました。他にも、誕生日や、大事な日には人材開発センターの大きなスクリーンにプロジェクターで映画を上映します。2009 年 6 月 8 日には「O My Friend Ganesha」を、2009 年 10 月 2 日には「Singh is King」を鑑賞しました。

文化的活動:

子どもたちは前期のすべてのフェスティバルや重要なイベント（復活祭、ラクシヤバンダン、ディワリ、ダシャラー、チルドレンデイ、クリスマス、ニューイヤー、ホーリー、Eid）をお祝いしました。フェスティバルはホームにてお祝いします。子どもたちには飲食物が配られ、教養プログラムやダンスを楽しむこともあります。これ以外にも、子どもたちの誕生日も毎月お祝いします。

社会意識向上・リーダーシッププログラム:

社会意識とリーダーシップの向上は、ホームの子どもたちが社会で普通に生活するために最も重要です。このため、ADF の人材開発とトレーニング部署がワークショップを行います。このワークショップは 2008 年 5 月 27 日と 30 日に行われ、子どもたちは個性の発達、ヨーガ、環境、子どもの権利、リーダーシップ等に関して非常に有益な教育を受けました。このトレーニングは、イニシアチブやリーダーシッ

プをとることを奨励し、子どもたちのライフスタイルに大きなインパクトを与えました。トレーニングの重要なテーマは、良い品行、自尊心、リーダーシップなど社会意識を基にしています。子どもたちは社会的な振る舞いや礼儀を改善させました。

カウンセリング:

毎週火曜日と金曜日に開かれているカウンセリングセッションは、ホームの総合的な活動です。プロのコウンセラーは、子どもたちのストレスやトラウマからの解放を手助けします。精神面のプログラムとして行われる特別なセッションでは、すべての子どもたちに対して検査を行います。問題を特定した後は、必要に応じて子どものカウンセリングを行います。前期は教育、うつ病、将来の進路に対する心配に関連した問題を抱えるすべての子どもにカウンセリングが実行されました。

スポーツ&ゲーム:

子どもの身体と精神を健康に保つため、スポーツとゲームは定期的に行います。ゲームは午後 5 時から 7 時までホームもしくはグラウンドで毎日行っています。外国から訪れたボランティアの方も、子どもたちと一緒にゲームに参加したり、新しいゲームを教えてください。ほぼすべての子どもたちはスポーツにも参加します。男の子はサッカーとクリケット、女の子はバドミントンとキャロムが大好きです。子どもたちは学校でもスポーツに参加します。両方のホームで大会も開催します。

ヨーガ・クラス:

人材開発センターとトレーニングセンターは定期的にヨーガ・クラスを実施して子どもたちの身体と心の成長に努めています。子どもたちはヨーガの先生に様々なアーサナ（ヨーガのポーズ）とその意味を教わりました。

その他の活動:

ワールドプレイヤーデイ:

2008年5月11日のワールドプレイヤーデイに子どもたちは教会でお祈りをしました。ADFのメンバーが聖書のクイズを出し、子どもたちはそれを楽しんでいました。教訓に富んだ聖書の話は、子どもたちが道徳の原理に従う助けになります。

独立記念日:

子どもたちは国旗を吊り上げた後、国家を合唱して2008年の独立記念日(8月15日)を祝いました。子どもたちは文化的な催し物も楽しみました。甘味やお菓子も配られ、数名の子どもはスピーチを発表しました。

ラクシャバンダン:

兄弟姉妹の強い結びつきを祝うラクシャバンダンは2008年8月16日でした。女の子は男の子の手首に綺麗な飾りを巻き、彼らの成功を祈ります。男の子は女の子を邪悪なものから守ることを誓います。子どもたちはこのお祭りを熱心に祝っていました。子どもたちは手品のショーも楽しみ、美味しい昼食を頂きました。

ティーチャーズデイ:

2008年9月5日は学校でティーチャーズデイのお祝いをしました。ティーチャーズデイは前大統領であり、素晴らしい学者でもあるラーダークリシュナン誕生を祝う日です。この日、上級生は授業を受け持ち、先生の役割を果たしました。

チルドレンデイ:

2008年11月14日はアシャ・ニケタン・ホームでチルドレンデイを祝福しました。チルドレンデイは最初の首相である。ジャワハルラール・ネールの生誕を祝います。この日はホームで写生大会が開催され、良い絵を描いた子どもに賞が贈られました。

創立記念日:

2008年11月22日、主賓にデリーの副市長 Divya Jaiswal 氏を招き、ADF はシャヒド・ナガルのプロジェクトオフィスにて創立記念日を祝いました。Divya Jaiswal 氏が統轄する今年のプログラムは、コミュニティーの女の子を対象にしたもので、著名な政府高官も参加しました。アシャ・ニケタン・ホームの子どもたちはウェルカムダンスを含む文化的プログラムを楽しみ、主賓は元気の出るスピーチを女の子に贈り、彼女たちに自信を持たせてくれました。

アシャ・ニケタン・ホーム卒業生の日への参加:

アシャ・ニケタン・ホームでリハビリを受けた卒業生の日は、2008年12月26日にADFの人材開発センターにて開催されました。ホームの子どもと、社会に出てリハビリを受けている子どもがプログラムに参加しました。卒業生のほとんどは定職に就いており、彼らの経験を子どもたちに話していました。

この卒業生の組織は AAA (Asha Alumni Association) という名前で、その主な目的は貧窮しているストリートチルドレンを支援することです。

クリスマス:

クリスマスのお祝いは2008年12月25日にアシャ・ニケタン・ホームにて行いました。焚き火とクリスマスキャロルの合唱の後には、ここでも文化的な催しが提供され、子どもたちは大変楽しんでいました。

これ以外にも子どもたちは、コミュニティーで開いた12月19日のクリスマスパーティーにも参加しました。ここではインド・グローバル・ソーシャル・サービス・ソサイエティのプログラムマネージャーであるシカ・スリヴァスタヴァ氏を主賓に招きました。子どもたちにはウェルカムダンスとキリスト生誕の寸劇が披露さ

れました。シカ氏はキリストの教えを子どもたちに教え、社会に愛と平和を確立するためにその愛のメッセージを広めようと話しました。最後にはサンタクロースが舞台に現れて、クリスマスを祝いました。参加者にはケーキとギフトがプレゼントされました。

子どもの権利に関する集会:

2009年2月25日、ホームの子どもたちは、シーマプリでくず拾いで生計を立てる700人以上の子どもと一緒にブロック・パークで行われた子どもの権利に関する集会に参加しました。子どもたちは自分たちの基本的権利を取り戻すためにスローガンを掲げ、主賓として招かれたデリー北東地区 ACP のラジェッシュ・デオ氏がスピーチを行いました。来賓者は他にもキランヴァティ・タンク氏(シーマプリ議員)、コミュニティーの著名な人物、地域の住居福祉団体の代表、ナレンドラ・ナス氏の代理人、MLA シャハドラ後援団体とその会長、タンス・ヤムナ開発の権力者とピア・シン・ディンガン氏などが招かれ、MLA シーマプリ後援団体はイベントに参加して子どもたちとの団結を見せました。子どもたちはデリーの州首相シーラ・ディークシト氏に要望書を提出し、要望を確認したアモード・カント氏は、子どもたちにすべての必要なサポートをすることを保証しました。

アニュアルスポーツデイ:

2009年2月13日、子どもたちはシャリマー・ガーデンのヴィヴェーカーナンダ公園で ADF の開催した第23回アニュアルスポーツデイに参加し、ナレンドラ・ナス氏、MLA シャハドラ後援団体とその会長、タンス・ヤムナ開発の権力者、ピア・シン・ディンガン氏、MLA シーマプリ後援団体、HS シャーマ氏、シャリマー・ガーデンの代表者が招かれました。このイベントは主賓がトーチに点火をして、正式に発足しました。そのトーチとともに、子どもたちは分列行進を行い、徒競走や組体操を披露しました。主賓の計画した競争で勝った子どもには、賞品が贈られました。
